

特集

# 「小5 統一合判」 中学入試レポート vol. 1

## わが子にとって、より良い 進学先を見つけるために、 今できること

### ～12歳の選択。私立中高一貫校が支持される理由～

2020年の新しい大学入試が、いよいよ目前に迫ってきました。改革の内容が浸透するに従い、受験する高校生のみならず、中学生、あるいは小学生のお子さまをお持ちのご家庭にも関心の輪が広がっています。

今回の入試レポートでは、「5つの進路」から、中学受験という選択肢を改めて考えるとともに、この数年で急速に進む「多様化する中学入試」をご紹介します。また、目前に迫った「夏休み」の過ごし方についても触れていきます。

#### 小学生の「5つの進路の選択肢」



首都圏模試センター

## わが子にとって最良の学校選びとは!?

今の小学5年生が中学校へ進学するのは2021年4月。同じ年の1月には新・大学入試が行われることとなります。その頃、お子さまはどのような日々を過ごしているでしょうか。

「小学生の進路」は、前ページに示すように、5つの選択肢があります。このうち、公立中学校への進学は、学区で定められた中学校か、複数の中学校から選択するかの違いはあれど、いずれも「受験（受検）しない」という道です。一方、「中学受験（受検）する」という選択は、家庭の教育方針を考えながら、よりわが子にあった学校、教育を自ら探し求め「選ぶ」こと。学校の教育理念やそれをどのような教育内容として実践しているかを、しっかり見極めることが大切になってきます。

では、そのために何が必要か。3つの選択肢の違いを見ながら、ご一緒に考えを整理していきましょう。

### 研究機関の役割を担う国立大学附属

受験できる中学校には、国立大学附属、公立中高一貫、私立中高一貫があります。

国立大学附属は、教育の研究や実習を目的として設立された学校で、研究機関としての役割を担っています。教科書の執筆や編集に携わる教員や、何らかの専門分野の研究家の顔を持つ教員も多く、教育レベルは高いものがあります。また公立中学校と同じく「義務教育校」として扱われる

ため、中学3年間の学費（入学金や授業料）が無償であることも、人気につながっているようです。

東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木の一都五県（以下首都圏）には、14校の国立大学附属中学校があります。●筑波大学附属駒場や◎東京学芸大学附属国際中等教育学校などは、中高6年一貫の体制を持っていますが、◎横浜国立大学教育学部附属横浜は県立光陵高校との連携。◎千葉大学教育学部附属や◎埼玉大学教育学部附属は、併設高校を持っていません。また◎お茶の水女子大学附属の高校は女子校。◎東京学芸大学附属（小金井・世田谷・竹早）は、◎東京学芸大学附属高等学校への推薦枠、中学の調査書と1月の学力検査で、附属高校への進学可否が決まります。これらの学校では、高校進学に当たり受験準備が必要となることは留意しておく必要があります。なお、国立大学附属は学校ごとに「通学区域」を指定しているため、注意してください。

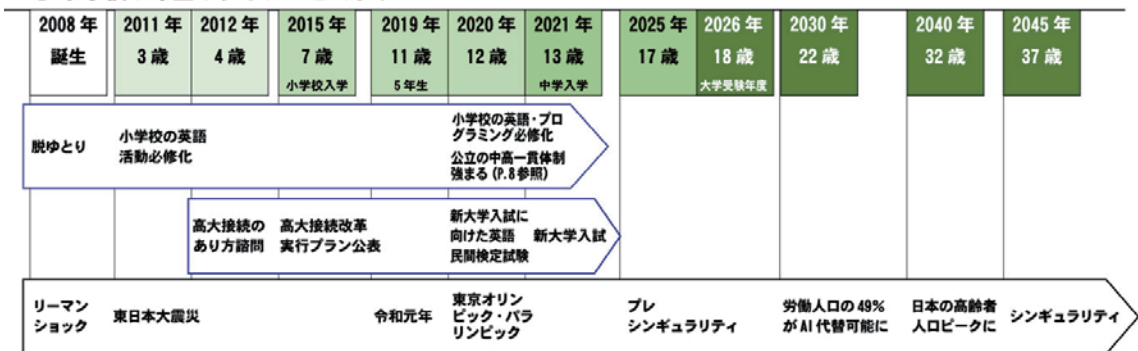
### 中高一貫体制を整える公立中高一貫校

都立、県立等の公立中高一貫校は、大きく分けて「中等教育学校」「併設型」「連携型」の3つのタイプがあります。

「中等教育学校」は、高校からの募集のない、完全中高一貫教育校です。そのため、6年間を有効に活用した柔軟なカリキュラムを組むことができます。一方で外部からの入学生という刺激がないとも言えます。

「併設型」は、既存の高等学校に、新たに中学校を併設したものです。中学卒業後は受験せず併

### ◎ 小学校5年生のライフ・ヒストリー



※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



# 特集 わが子にとって、より良い進学先を見つけるために、今できること

～12歳の選択。私立中高一貫校が支持される理由～



2019年3月、都立中高一貫校の適性検査日は毎年2月3日。写真は都立両国高等学校附属中の適性検査日風景。

設の高校に進学することができます。このタイプでは高校からの外部募集生と混ざること、相互に刺激し合いながら、切磋琢磨しています。ただし高校からの入学者との間に学力差が生じる場合があります。クラス編成の際の課題と指摘されることもあるようです。

「連携型」は市町村立の中学校と都道府県立の高校が連携するもので、中学入学時の選抜試験はありません。

「中等教育学校」と「併設型」では、中学入学時に「適性検査」が実施されます。科目の枠を超えた総合的な問題が出題され、記述を中心とした「表現力」「思考力」を測る出題が多い傾向があります。

また国立大学附属中学校と同様に公立中高一貫校の受検には「通学区域制限」があるので注意が必要です。

2005年の◎都立白鷗高等学校附属の開校以降、首都圏でも公立中高一貫校開校が続き、現在、首都圏には25校（2019年4月現在）の公立中高一貫校があります。開校が落ち着いたこれからは、併設型の学校も、より中高一貫体制を強化していくことが伝えられています。詳しくは8ページをご参照ください。

## 私立中高一貫校、大きく分類する際の視点

次に私立中高一貫校を見ていきましょう。今回は、次の大きな3つの視点から考えていきます。

1. 男子校、女子校、共学校
2. 創立の母体（宗教系・非宗教系など）
3. 進学校、大学付属校、半付属校

まず、第一の視点が男子校、女子校、共学校。首都圏の私立中は、男子校44校、女子校94校、共学校163校（2019年4月現在）となっており、男子が選択できる学校数より、女子の選択できる学校数が多いことが分かります。なお男子部、女子部が同敷地内もしくは隣接する学校は別学校と言われることがあります（●●国学院久我山、●●桐光学園など）。◎かえつ有明は2013年以来、中学段階では授業で男女別学教育を行ってきましたが、2020年度中学入学生より中高一貫6年間の男女共学となることを決定しています。2020年には、●●聖ヨゼフ学園、●●小野学園（同時に「品川翔英中学・高等学校」と校名変更）が共学化します。

第2の視点として、創立の母体から学校を見てみます。宗教系か非宗教系と言い換えてみると分かりやすいかもしれませんが、例えば、キリスト教系、仏教系、神道系などの学校は、創立までさかのぼると、宗派や教団が設立した教育機関にたどり着くことができます。いずれも信仰を求められるわけではなく、各校の教育理念や教育内容などにその特徴が現れます。教育に情熱を注いだ創業者（個人やグループ）や企業などの創った私立学校の多くも、歴史の長短によらず、それぞれの教育理念に基づく教育を行なっています。

私学は、どのような生徒を育てたいか、どのような人材を社会に送り出したいかという教育理念や、そこから生まれる校風が学校ごとに異なると言われる所以です。

## 大学付属校か進学校か、あるいは半付属校か

さて第3の視点が、進学校、大学付属校、半付属校です。

中高6年間は、教科教育、行事、課外活動、国内外の研修、体験学習などを通して、好奇心や関心が刺激される時間です。進学校は併設の大学がありませんので、自分で行きたい大学や学びたい学部・学科を選んで受験することができます。医学部や東大といった大学合格実績でよくランキングされる実績の数だけでなく、芸術系、海外の大学、学部や学科などにも注目してみるとよいでしょう。

概して進学校は、進路・進学指導に長けています。



開智の授業で、学びあう姿勢は、放課後の教室でも自由闊達に展開されている。

ただ、学校によってカリキュラムやサポート体制、補習・補講、期間講習などの整備、自習室等の施設も異なります。また、大学受験のためだけではない授業はもちろん、各種プログラムにも目を向けると、私学の多彩さが浮かび上がってきます。

●校成学園の自習室や●聖学院のMANABASEには、母校の後輩のために学習支援や相談に応じる卒業生チューターが常駐しています。●和洋九段女子のSTUDY STATIONは20時までオープン。◎日本工業大学駒場の光風塾は学校内塾とも言える取り組みです。●東京家政学院のキャリアサポートセンターによる進路指導や、「22歳の夢」を応援する●聖和学院のキャリア教育もきめ細やかさが身上。◎開智の「探究テーマ・フィールドワー

ク」、◎橘学苑の「感性教育」、◎東洋大学京北の「哲学教育」など、独自のプログラムは、あげればきりがありません。◎関東学院六浦や●横浜女学院など、英語教育にCLIL（クリル：Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習）を導入し、英語「で」学ぶ授業に取り組んでいる学校もあります。

一方、併設の大学・短大を持つ「大学付属校」は、高校卒業後には併設大学へ推薦され進学することが前提で、中高大一貫教育に身を置くことになります（小学校からの場合も）。大学講義の受講、教授の出張授業、大学の指導者や先輩による部活動の指導、大学図書館などの施設利用などの豊かなリソースを共有することができます。そのため、一般的にはのびのびとした学校生活を送れるとされるのですが、内部からの推薦進学のためには学業成績や学校生活で一定の条件を満たす必要があること、学部・学科ごとに内部推薦枠があることは、予め心得ておきたい点です。内部推薦の条件として、英語のスコアや級を指定したり、高校での卒論を条件にしたりしている学校もあります。

慶應義塾大学、早稲田大学、青山学院大学、明治大学、立教大学、法政大学、中央大学の付属高

## 大学とつながるさまざまな動き～付属・系属校化、高大連携～

ここ数年、目立つのが大学の付属校化・系属校の動きです。この10年でも、◎東京都市大学等々力（2009年●東横学園が同系列の五島育英会が経営する東京都市大学等々力へ。2010年共学化）。◎中央大学横浜（2010年●横浜山手女子が●中央大学横浜山手へ。2012年共学化）。◎東洋大学京北（2015年、京北から東洋大学京北へ。同時に共学化し移転）、◎青山学院横浜英和（2016年に●横浜英和女学院から青山学院横浜英和へ。2018年共学化）。◎青山学院大学系属浦和ルーテル学院（2019年浦和ルーテル学院から）。これらの学校は付属校化を契機に注目を集め、中学入試でも受験者数が大きく増えました。付属校化と同時に共学化という大きな体制改革を伴ったことも大きな要因です。それぞれの大学自身の新学部創設やグローバル化などの改革、都心回帰といった要素、この1・2年の間の大学入試の定員厳格化の影響による首都圏私大の難化もあり、大学の勢力図も、かつてとは様相が異なっています。

2000年に入り、理念や方向性を共有する大学と私立中高一貫校が教育提携を結ぶ高大連携が活発化しました。付属校化・系属校化とは別の動きで、東京理科大学と◎横浜



「東洋大学京北オリジナルの必修科目」哲学の授業風景。

富士見学園、法政大学と●三輪学園などの提携があります。

今年に入ってからは、さらに動きが活発化しました。

●麹町学園と女子栄養大学・成城大学、●桐朋女子・●桐朋と電気通信大学。●桐朋女子・●横浜女学院と東京女子大学、◎郁文館夢学園と日本医科大学など。●豊島岡女子学園は、2016年から「モノづくりプロジェクト」で連携し成果をあげてきた東京電機大学との協定を結びました。





# 特集 わが子にとって、より良い進学先を見つけるために、今できること

～12歳の選択。私立中高一貫校が支持される理由～

の多くは、80%以上が併設大学へ進学しますが、大学名を中高の校名に冠する学校でも、併設の大学への進学が多くない、もしくは極めて少ない学校もあります。これらの学校は、進学校的付属校、半付属校と言われます。早稲田大学の付属・係属校でも●早稲田の併設大学内部推薦進学率は概ね50%程度。●学習院49%、●学習院女子61%、◎成蹊19%（いずれも2019年）などは進学校的付属校と言えるでしょう。

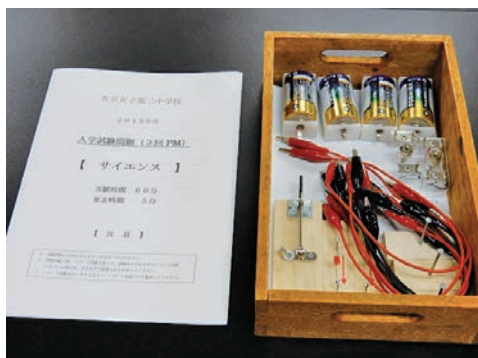
多くの付属校では、他大学受験をする場合、併設大学への推薦権を辞退することを求められます。しかし一方では、近年、併設大学への内部推薦権を保持したまま他大学進学にも道を開く学校も増えてきました。例えば明治大学の付属校は、国公立大学・大学校に限り可としています。●清泉女学院は2018年度から「清泉女子大学 姉妹校高大接続入学試験」制度が始まり、この制度を活用して、積極的に大学受験に挑み進路を実現する生徒もいました。

## 中学入試の変化は止まらない。多様な才能を発見する新しい入試が続々登場

独自の教育理念や教育方針を持つ私学は、入試問題に、「どのような生徒に入学して欲しいのか」というメッセージを込めています。同時に、新しい大学入試に対応できる学力と社会で求められる力を持つ人材を育てたい、私立中高一貫校の思いも透けて見えます。

近年、知識を結びつけて考える問題、グラフや表を読み取り理由を記述する問題、自分の考えを理由とともに述べる記述問題、解答までの過程もみる採点が増えるなど、記述問題重視の傾向が強くなっていました。それに加え、2017年を境に、とりわけ入試科目や形態がダイナミックに変化しています。この数年の急激な入試の多様化は、受験準備期間が短い、あるいは習い事やスポーツに一生懸命取り組んできた小学生にも進路選択の幅を広げ、中学受験を視野に入れるご家庭を増やしています。

「英語型」入試は年々増加し、2019年入試の実施校は127校に上りました（首都圏模試センター集計。以下同）。また、「思考力」や「表現力」



国立女子第二は、2019年入試で首都圏初のサイエンス入試を実施した

を問う、「思考力型」「記述・論述型」「総合（合科）型」「自己アピール・プレゼンテーション型」「プログラミング」「得意科目選択型」など、従来の4科目入試、2科目入試とは異なるタイプの入試を実施している学校は、5年前の約4倍に当たる147校に増えています。「21世紀型教育（次世代型教育）」や「世界標準（グローバルスタンダード）の教育」を標榜する学校が積極的に導入していることや、「探究型」「アクティブラーニング」といった授業をはじめ、学校生活で活躍する素質を持った生徒がこうした入試から入学していることが、動きを加速させています。1月前半あるいは2月前半の数日の間に進学校を決定する受験生ばかりでなく、受験機会があれば最後までそれを生かす受験生も少なくない傾向も見逃せません。

13歳から18歳までの中高6年間。感性の柔らかな10代の大半を占めるこの時期の経験は、目に見える形でも見えない形でも、将来につながるものとなります。それだけに学校には、学習はもちろん、各種研修、部活動や課外活動など、それぞれが自己肯定感を育める機会が、様々に用意されています。学校の取り組みは多彩です。学校選びのポイントをたくさん持ち、その優先順位も考えておくと、受験校選びの際に志望順位が明確になってくるでしょう。

「将来、わが子にはどのような大人になってほしいのか?」、「なぜ中学受験をするのか?」、この機会に、家族でこれからの方向性を話し合い、わが子に合った「進路」を見つけてください。お子さまにどのような教育環境を与えたいのか、そのことがそれぞれのご家庭の、「学校選びの原点」となるようお祈りしています。

## 世界標準の教育と、海外大学進学という選択肢 ～ダブルディプロマ・国際バカロレア～

大学進学において、「海外の大学」や「留学」という選択肢がクローズアップされるのも、近年の特徴的な傾向です。海外大学へ進学するということは、日本の入試制度との違いや語学力、費用面などからかつては特別な進路でした。最近では、中高時代に世界中の同世代と交流する機会が増えたり、帰国子女（海外在留経験のある日本人）の増加が見られたり、また海外大学からのリクルート活動もあり、一つの選択肢として多くの高校生の心を捉えています。

今、注目されるのが、日本の高校卒業資格とともに、海外の高校卒業資格を得ることができるダブルディプロマ（以下DD）や、国際的に通用する大学入学資格を得ることができる国際バカロレア（以下IB）です。

◎文化学園大学杉並はカナダ・ブリティッシュコロンビア州政府が認めた日本初の海外校です。Bunka Suginami Canadian International School (BSCIS)では、卒業時にカナダはじめ複数の国の大学に出願可能な卒業資格が授けられます。現在、中学ではDD準備コースと中高一貫コースの2コース、高校でDDコース、進学コース、特進コースの3コース体制になっています。●国本女子は、2020年からカナダ・アルバータ州教育省と提携し、Kunimoto Alberta International School (KAIS)でDDの中高6年グローバル一貫教育校をめざすとしています。●神田女学園も2020年度より「アイルランド ダブルディプロマ プログラム」を始動。先頃、Rockwell Collegeとの合意書を締結しました。

IBでは、「探究する人」、「考える人」、「コミュニケーションできる人」など10の項目を学習者像としています。◎昌平や◎玉川学園、◎茗溪学園など認定校は、IBの手法を用い、教育の成果をあげています。◎開智日本橋学園は2018年に、中学段階のMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）、高校段階のDP（ディプロマ・プログラム）の認定校となりました。これにより中高6年間を通じたIBの学習環境が整い、2019年入試で難化を伴って人気が増したことは、記憶に新しいところです。公立でも2015年に開校した◎札幌市立札幌開成中等教育学校が昨年までに認定校となっています。今春2019年に開校した◎さいたま市立大宮国際中等教育学校、◎大阪市立水都国際、◎広島県立広島観智学園も、未認定ながらIB教育を取り入れることで注目されました。2020年に共学化する●聖ヨゼフ学園は、併設の小学校でIBのPYPC（初等教育プログラム）を導入しており、今後、中学にMYPを導入すべく、2019年度内の候補校認定、2022年度の正式認定へ向けて着々と準備進行中です。

ここではIBの学習者像など詳細に触れることができま



IBの学習者像（聖ヨゼフ学園小学校サイトより）。

せんので、詳しくは文部科学省や文部科学省IB教育推進コンソーシアムのホームページなどをご参照ください。

国際バカロレアやダブルディプロマのような特別なプログラムを持たない学校にも、独自の海外研修や留学制度がある学校も少なくありません。国内での研修に力を入れたり、姉妹校と交流したり、交換留学制度といった取り組みもあります。●巣鴨では、夏の藝科で巣鴨サマースクールを開催しています。これは、イギリスのイートン校サマースクールを国内でも実現したいと始まった巣鴨オリジナルのプログラム。また、ラウンドスクエアに加盟している◎玉川学園や◎八雲学園、◎啓明学園では、国際会議への参加や加盟校との交流が行われています。

大学では、昭和女子大学が、上海交通大学、ソウル女子大学校、ペンシルベニア州立テンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)とのダブルディグリープログラム（2つの学位を取得）を、また武蔵大学ではロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラムを実施しています。



ラウンドスクエア国際会議に参加した八雲学園の生徒たち。



# 特集 わが子にとって、より良い進学先を見つけるために、今できること

～12歳の選択。私立中高一貫校が支持される理由～

## まだまだ変わる中学入試 2020年以降入試要項変更（抜粋）

今の5年生が受験する2021年の中学入試は、どのような入試になるでしょうか。現在、その前年の2020年入試要項変更が続々と公表されています。従来型科目の見直しや新しい選抜方法導入が増加する傾向は衰えを見せない情勢です。（文中で年度のない変更は2020年入試のもの）

### 新タイプ入試の導入

- 函嶺白百合学園：「思考力型」や「自己アピール入試」を導入。
- 清泉女学院：思考力・表現力・総合力を測る「アカデミックポテンシャル入試」を新設。
- 日本大学豊山女子：「2科4科選択」「適性検査型」「思考力型（プレゼン型）」に「英語インタビュー型入試」を追加。
- 三輪田学園：英検利用入試を導入
- 山脇学園：理科と課題探究で実施する「探究サイエンス入試」を新設。課題探究は、実験の組み立てと実施、情報の収集と分析、考察の表現、各プロセスや成果から受験生のポテンシャルを評価する。
- ◎宝仙学園共学部理数インター：「読書プレゼンテーション入試」を新設し10通りの試験を実施。

### 1科目入試の増加

2015年の●鎌倉学園、2018年の●品川女子学院、●大妻中野に続き、2019年には●巣鴨、●世田谷学園、●普連土学園、◎栄東が「算数1科入試」を、●山脇学園「は国算1科入試」を導入しましたが、2020年でもこの動きは続きます。

- 跡見学園：「国語重視型入試」を導入（2科で受験。合否判定で国語を重視）
- 湘南白百合学園：「算数1科入試」を導入
- 田園調布学園：「算数1科入試」を導入
- 富士見：「算数1科入試」を導入
- ◎啓明学園：「算数1科入試」を導入

上記4入試はいずれも2月1日または2日の午後入試です。

### 入試機会（日程）増

- 暁星：2月2日、2月3日午後の2回に
  - 湘南白百合学園：2月1日午後、2月2日の2回に
- 複数回化は、募集定員を分割するということから、難度に影響を及ぼすことには注意が必要です。

### 国立大学附属中学の科目変更

- ◎お茶の水女子大学附属：2021年に従来の4科入試から、「入学検定：検査Ⅰ、検査Ⅱ、検査Ⅲ」の導入に変更。
- ◎筑波大学附属：2021年に現在の8教科（全教科）入試を、音楽、図工、家庭、体育は報告書を点数化し4科目入試（国算社理）に変更。



2020年に2回入試となる暁星。帰国入試も12月に分離して実施。

### 共学化・開校

- 小野学園：共学化（同時に「品川翔英中学・高等学校」と校名変更）
- 聖ヨゼフ学園：共学化（P.7の1B参照）
- ◎三育学院中学校（仮称）：夷隅郡大多喜町に中学開校

### 中高一貫シフト

- 【東京】
- 本郷：2021年より高校募集を停止（2020年の中学入試定員増）。
  - ◎東京都立の併設型中高一貫校5校：順次、高校募集を停止し中学募集を拡大（定員等詳細未定）。
  - 2021年 ◎富士、◎武蔵
  - 2022年 ◎両国、◎大泉（◎白鷗の実施時期は2021年度以降に決定）
- 【埼玉】
- 2021年 ◎川口市立高等学校を中高一貫校に。
- 【茨城】
- 県として県立中高一貫教育校の開設に舵を切りました。
- 2020年 ◎太田第一、◎鹿島、◎下館第一、◎鉾田第一、◎竜ヶ崎第一、
  - 2021年 ◎水戸第一、◎土浦第一、◎勝田（※）
  - 2022年 ◎水海道第一、◎下妻第一
- ※勝田は中等教育学校、その他9校は高校入学者枠が残る併設型の予定。

### 交通網の整備

これまでも、湘南新宿ライン、つくばエクスプレス、副都心線などの新線開通や相互直通運転の開始が通学圏を広げてきました。今後の交通網の整備にも注目しておきましょう。

2019年下期 相鉄・JR線の相互直通線開業

- 2020年 高輪ゲートウェイ駅開業
- 2022年 相鉄・東急の相互直通路線開業

## いよいよ夏本番！ 5年生の夏休みを、上手に過ごそう！

夏休みは、約40日間もまとまった勉強時間がとれる、中学受験生にとっては大切な時期です。

中学受験に挑んだ先輩たちの多くが、あとでその時期を振り返り「よく頑張ったなあ…」とか「あんなに勉強した時期はほかにはなかった！」と言うように、この夏休みの過ごし方や努力が大きな意味を持つことは間違いありません。



しかし、小学5年生の皆さんにとっての夏休みは受験勉強以外にも、普段ではできない貴重な体験ができる時期でもあります。せっかくの長期休暇ですから、家族や友だちと一緒に過ごす時間も大切にしたい、スポーツや習い事もそのまま続けたいと思うお子さんも多いはず。そこで課題となるのが「勉強との両立」です。

夏休みを上手に乗り切るコツは「無理な計画を立てない」こと、そして「リズムをつくる」ことです。

もともと大人と子どもでは時間に対する体感速度が異なります。大人は歳を重ねるにつれて月日が経つのを“短く”感じるようになりますが、知識も経験も少ない子どもたちは、我々が考えている以上に、1年を“長く”感じているものです。

あまり意気込んで、「あれも、これも…」と課題を増やし過ぎては、かえって逆効果。小5の今の時期はあまり手を広げ過ぎず、実現可能な課題から、取り組む姿勢が大切です。

夏休みはこれまでに学習してきた「知識」や「技法」を使って演習に取り組み、基礎力を定着させることができる時期でもあります。だからこそ「焦らず」「欲張らず」、「実現可能な計画」を立てて、毎日少しずつ達成感を感じられるような学習リズムで過ごすようにしてください。

また、そうした学習計画は、完璧にこなさなければいけないものではなく、そのときどきの状況によって見直すことも大切です。

この夏休みを効果的に乗り切ることができれば、来年迎える「小6の夏休み」の計画も組みやすくなるはず。この夏休みは、子ども自身が、やる気や日々の達成感を少しでも自分で感じられるようにサポートしてあげてください。

大人でさえ、体験したことのないこと（もの）は、実際にはなかなかイメージできないものです。そこで、お子さまが実体験できる機会を作ってあげましょう。例えば、立体図形を実際に作ってみる（お菓子の箱を広げて組み立ててみる）、星座早見盤で天体観測してみる（星の歌をうたいながら）、知らないことがでてきたら調べてみる、読書する、博物館や美術館に足を運んでみる（夏休みは子どもプログラムがたくさん）……。時間のとれる5年生のうちにやっておくと、6年生になったときに、きつと役に立つことでしょう。

## 塾の夏期講習で力を伸ばすには？

塾の夏期講習では、さまざまな演習問題に取り組みくことを通じて、これまで学んできたことを「使える力」として定着させることを狙いにしているケースがほとんど。それだけに、夏期講習の開始までに、自分が苦手なところ、不得意なことはいかを明らかにしておきたいところです。そして、塾の夏期講習のテキストや資料を見て、この夏休み前に、いつ、どのような分野・単元を学習するのか、あらかじめつかんでおけば、自分の課題に沿った努力目標や、がんばるべきポイントもわかってくる。

夏期講習の授業では、できれば前日までに、今回はどの単元を学ぶのかを確認したうえで、授業に臨むようにしてください。これまでにその単元や範囲を学んだテキストやノートを見直して、自分が学んだことを思い起こすことができれば準備は万全です。

それは「予習」とは違って、これまでの自分の学びを振り返り、新たな課題に取り組む「気持ち」の準備を整えることにもなります。自分が学習で身につけてきたことや、不足していることを、自分自身の課題として見つけることができるのも、長い夏休みならではのメリットとなります。

また、夏期講習は、多くの場合、問題演習が中心になるため、子どもたちは、自分の解答が「○か、×か？」ということに気をとられがちになります。しかし、大切なことは、そうした問題への取り組みを通して、自分が「どのように考えたのか」、「なぜ、そういう考え方（解き方）を選んだのか」を確認することです。それが基礎・基本を使える力にするためのもっとも確実な学習方法です。

小5の夏休みは  
基礎力を固める絶好の機会！  
無理のない学習計画を立てて  
規則正しい生活を  
心がけよう！

